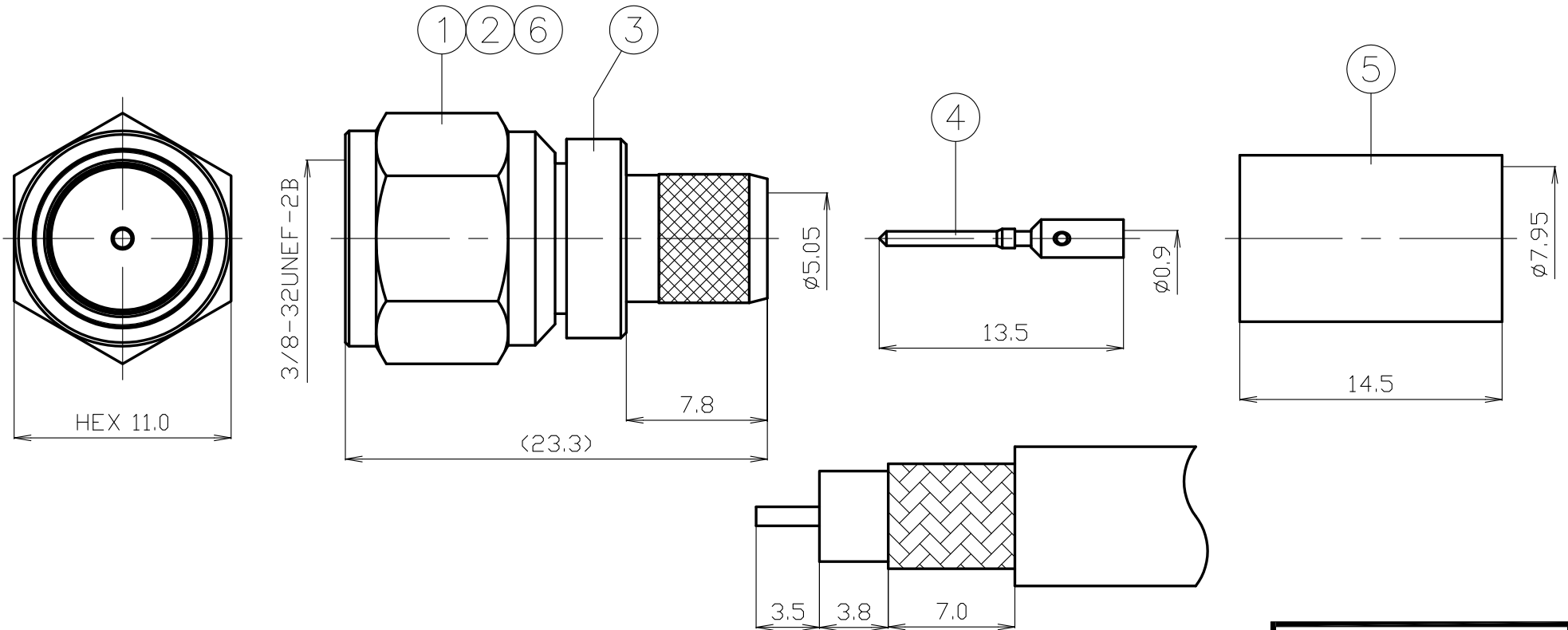




<http://www.to-conne.co.jp>
Reference Only

本書類の内容は、改良等のため予告なく変更・廃盤にすることがありますのでご了承下さい。



ケーブル取付図参考寸法

※ 接続ナット締付け推奨トルク値は1N・mとする。

RoHS Compliant $Cd \leq 75ppm$	
REMARKS	BRASS: Cd $\leq 75ppm$ PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

番号	部品名	材質	数量	処理	備考	尺 寸	製 図	検 図	承 認	確 認	品 名
7						3/1					FP-5CA
6	ブッシング	黄銅	1	Ni							
5	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni							図 番 Y-0811442-02
4	中心コンタクト	黄銅	1	Au							
3	シェル	黄銅	1	Ni		単 位 mm					株式 会社 ト ー コ ネ TO-CONN E CO.,LTD.
2	絶縁体	テフロン	1	--		日 付 2001,04,02	投 影 法				
1	接続ナット	黄銅	1	Ni							

FP-5CA

取付仕様書

<http://www.to-conne.co.jp>

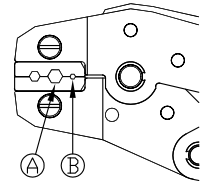
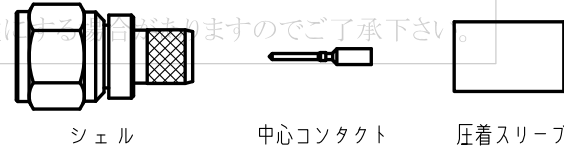
適合ケーブル 5C-2V,EM-5C-2E

専用圧着工具
TA-35
(本体表示:53-8242)

図番 Y-0811442-02

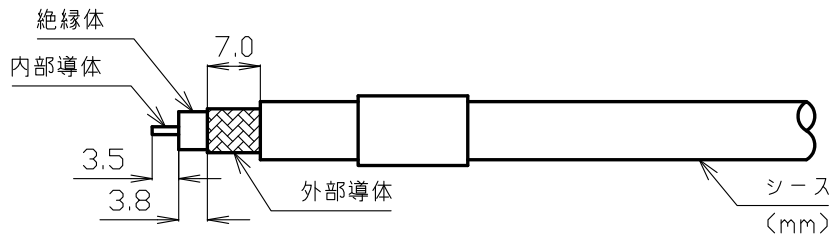
本書類の内容は、作業時の安全に配慮して記載されていますのでご了承下さい。

部品構成

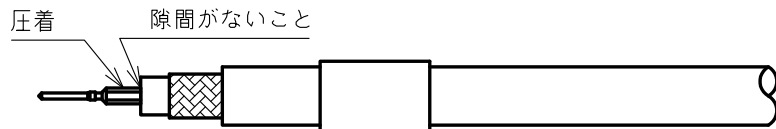


株式会社 トーコネ
TO-CONN CO.,LTD.

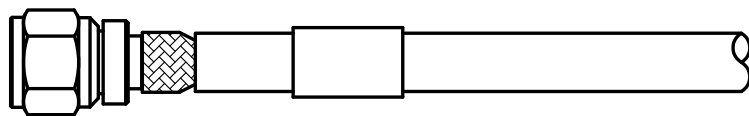
作成	確認



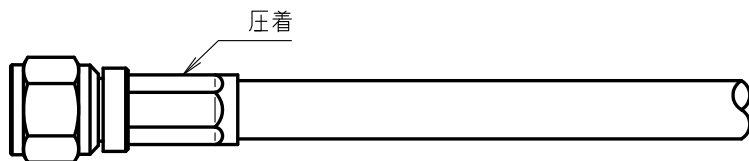
- 1 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、内部導体、絶縁体、外部導体、シースを図中の寸法で切り取る。



- 2 中心コンタクトを内部導体に装着して圧着工具のB部で圧着をする。



- 3 シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に入る様に装着する。(プチンと中心コンタクトが定位置に入った事を確認する。)



- 4 圧着スリーブをスライドさせ外部導体へかぶせ圧着工具のA部で圧着させ作業を終了する。

※ 接続ナット締付け推奨トルク値は1N・mとする。

◆TA-35をご使用の場合は、別紙「TA-35圧着工具 ご使用上の注意」を必ずお読みください。

2015.03.10

TA-35圧着工具 ご使用上の注意

(本体表示：53-8242)



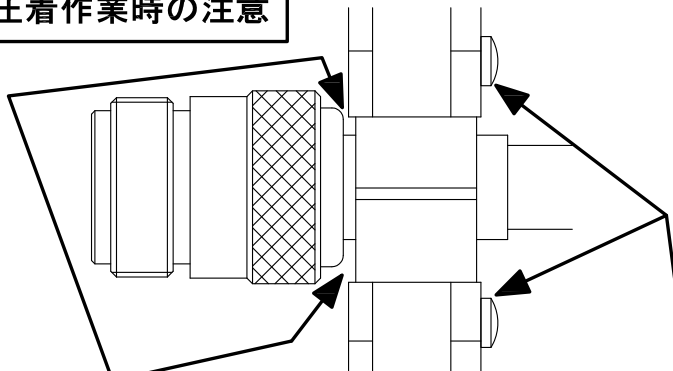
株式会社 **トーコネ**
TO-CONNE CO.,LTD.

作成 確認

◆TA-35圧着工具をご使用の際は、下記に注意してご使用ください。
コネクタの形状により、圧着工具の部位が接触しコネクタにキズがつく場合があります。

本書類の内容は、改良等のため予告なく変更・廃盤にする場合がありますのでご了承下さい。

圧着作業時の注意

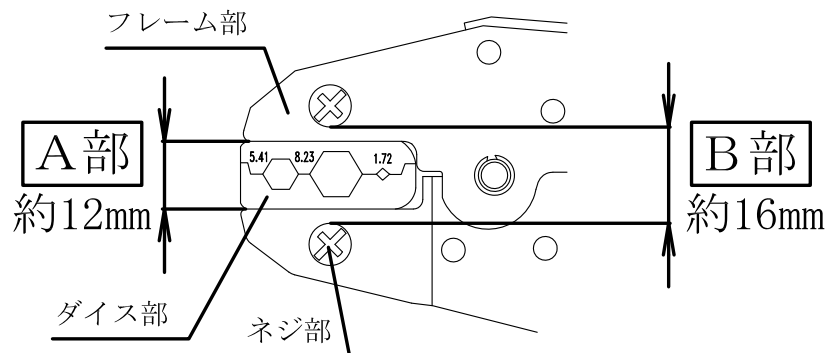


① フレーム部に当たらないように
ダイスとの隙間に注意 **※注1**

② ネジ部に当たらないように注意

A部

ダイス幅よりもフレーム部の幅が大きく、コネクタの圧着部付近が下記寸法よりも大きいコネクタは接触しないよう注意が必要です。

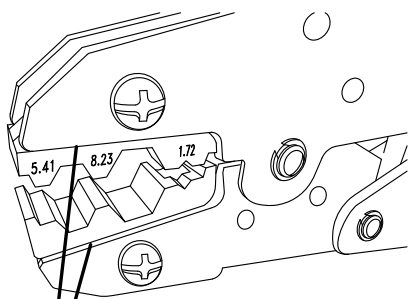
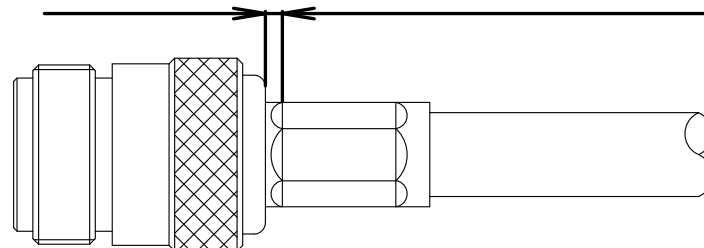


B部

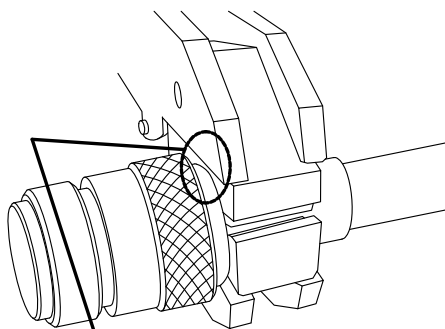
圧着部付近が16mmを超えるコネクタは圧着工具のネジ部が当たらないように、向きを変えて作業してください。

※注1

仕上がり状態で、下記範囲が1.5mm以下になるように作業をおこなってください。



フレーム部は両面共に注意すること





仕 様 書

品 名 FP-5CA

No. 0810436

図 番 Y-0811442-02

株式会社トーコネ

定 格

- 1 参考規格 JEITA RC-5223A
- 2 定格電圧 AC 150V
- 3 公称インピーダンス 75Ω
- 4 定格電流 1A

確認	検印	作成

項目	条件	規格
1 2 3 構造形状	構造及び形状寸法	添付図に示す(図番 Y-0811442-02)
	材 質	
	仕上げ及び表示	
4 5 6 7 電 氣 的 特 性	絶縁抵抗	DC 500V
	耐電圧	AC 500V 1分間
	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流 又は直流で1mVを越えない方法にて
	電圧定在波比	DC~3000MHzまで
8 9 10 機 械 的 特 性	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき
	ケーブル引張強度	軸方向引張力196Nにて
	結合部接続強度	軸方向引張力294Nにて

20170222

変更履歴	日付
1	
2	
3	